

48 ヒメケフサイソガニ

(モクズガニ科)

兵庫県ランク:B

Hemigrapsus sinensis

環境省ランク:指定なし

種の概要

紀伊半島沿岸から瀬戸内海、有明海に分布する。甲幅10mm。潮間帯中部から下部の主にカキ礁、カキ殻の間隙に生息する。体色は明灰色から褐色、近縁のケフサイソガニやタカノケフサイソガニと比較すると、本種は雌雄ともにハサミ脚の間に軟毛束があること、軟毛の生える範囲がハサミ脚掌部外面の半分以上であることで識別できる。また、本種は同属他種よりも動きが遅いため、発見した場合本種だけが取り残される。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			△

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、赤穂市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。播磨東部から西部、及び淡路島から記録があるが、県内における本種の個体数は多くなく、また大型の個体は極端に少ない。

保護上の留意点

カキ殻の間隙を利用するため、河口域の水質汚染や河川改修などによる人的攪乱が脅威となりうる。河口域の安定的なカキ個体群、特に立体的なカキ礁の保全が本種の個体群維持に必要となる。

写真提供：西宮市貝類館



【執筆者】 渡部哲也